

化学生物総合管理学会 第4回学術総会

テーマ:新段階に入った化学物質総合管理
～REACHの影響とナノ材料の行方を探る～

日時:10月5日(金) 10:00～17:20

会場:日本教育会館

(東京都千代田区一ツ橋2-6-2)

地下鉄都営新宿線・半蔵門線「神保町駅」下車 A-1 出口、徒歩3分

《開催案内》

化学物質総合管理は新たな段階に入った。SAICMの合意やREACHの施行など国際的な流れを無視することはできず、国内外の動きを捉えつつ私たちの採るべき方策を考える必要がある。

REACHへの企業の対応策を例にして化学物質総合管理の実態を論じるとともに、国際競争力の向上に資する法律や社会制度のあり方を論じる。

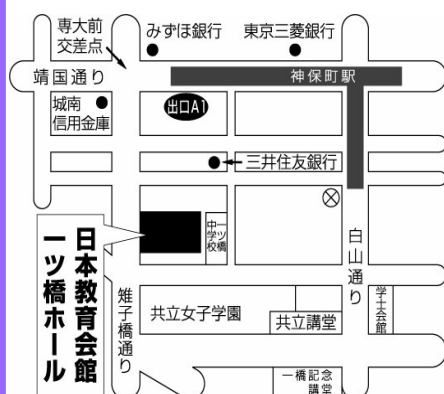
また、この視点からみたナノ材料のリスク管理のあり方について論じる。特別講演としてナノ材料の開発で世界をリードしているのみならずリスク評価にも熱心に取り組んでいる信州大学工学部遠藤守信教授による「多層カーボンナノチューブの機能とリスク管理～生体適合性評価の現状と本格研究への期待～」を予定している。

★参加料:無料[事前登録制]

(但し、会員外の方は資料実費1,000円負担)

★学会の会員以外の方も参加登録可能

参加希望の方は、①参加者氏名、②所属(勤務先など)③終了後の意見交換会の出欠(会員、会員外とも2,000円)を明記のうえ、E-mail又はFAXにて学会事務局にご連絡ください。後日、参加証を送ります。



E-mail: cb-jim@cbims.net FAX:03-5978-5096

特定非営利活動法人 化学生物総合管理学会

TEL:03-5978-5018

第4回学術総会 プログラム

受付開始 9:30

(敬称略)

1.	10:00～10:05	開会挨拶	増田 優 化学生物総合管理学会会長
2.	10:05～10:30	テーマ説明:化学物質総合管理の国際的動向	高月 峰夫 学術総会実行委員長
3.	10:30～10:55	化学物質総合管理法の骨子	星川 欣孝 お茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター
4.	10:55～11:20	国際的な展開における基盤整備の遅れと対応策 ～バイオテクノロジー～	大福 裕子 (独)製品評価技術基盤機構
5.	11:20～11:45	化学物質に関する企業行動の評価 －2006年度評価結果と改善への道筋－	結城 命夫 お茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター
		昼食休憩	
6.	13:00～13:25	REACHに関する解析と考察	窪田 清宏 (財)化学物質評価研究機構
7.	13:25～13:50	企業におけるREACH対応の現状(1)	今井 弘 住友化学株式会社
8.	13:50～14:15	企業におけるREACH対応の現状(2)	高橋 俊彦 JSR株式会社
9.	14:15～14:40	企業におけるREACH対応の現状(3)	本田 裕 日立化成工業株式会社
10.	14:40～15:00	中間まとめ	高月 峰夫 学術総会実行委員長
		休憩	
11.	15:10～15:50	ナノ物質の発がん性評価の現状	津田 洋幸 名古屋市立大学大学院 医学研究科
12.	16:00～17:00	【特別講演】 多層カーボンナノチューブの機能とリスク管理 ～生体適合性評価の現状と本格研究への期待～	遠藤 守信 信州大学工学部教授
13.	17:00～17:20	総括質疑応答	

題名は都合により変更になる場合があります。

※終了後、意見交換会を行う予定(会費制)